

R18

うちのジューラちゃんが
飛脚しました





うちのジュミラちゃんが
飛翔しました



ミラ 起きたか？

ただいま
買い出し終わったよ

ああ おかえり
すまない 昼食後
すぐに寝入って
しまったのだな

大丈夫だよ
暫く無茶な行程で
生活が不規則
だったんだし



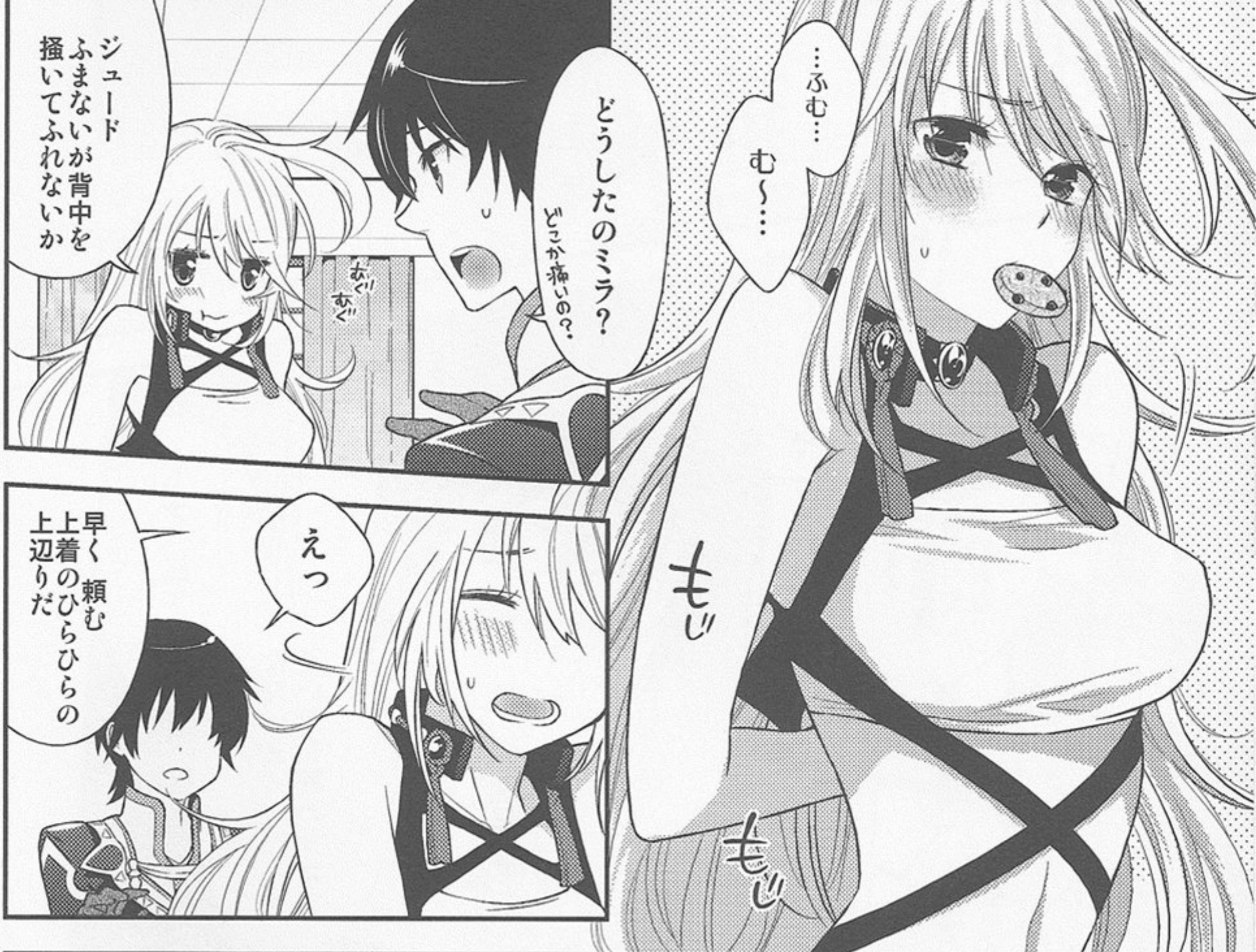
今日だって
明け方やっとな街に着いて
お昼ご飯まで
起きっぱなしだったん
だから仕方ないよ

ハッキー？
食べる？

うむ♡

そうだ 途中で
ドロツセルさんに会って
レイアとエリーゼが
連れてかれちゃった

アフタヌーンティー
するんだって
だからミラも…



ジュード
ふまないが背中を
搔いてふれないか

どうしたのミラ?
どこか痛いの?

…ふむ…
む…

もじ

もじ



早く頼む
上着のひらひらの
上辺りだ

えっ



ここの辺?

うむ
いい感じた

手袋が無いと
もつといい

わさ
わさ

あうん
と取るね
いい匂い

四大と離れ代謝が
自動処理されなくなつて
からというもの、このような
炎症がたまにおきるのだ
発汗によるものだろう



さつき風呂に
入ったのだが汗を
流しても中々治まら
なくてな…

うん…見た所
結構肌にダメージ
受けてるかも
日中だいたい外だし
仕方ないけど…

またお店で
日焼け止めと
保湿クリームを
見てくるね

あとあんまり
引つ搔いちや
ダメだよ?

我慢出来る
自信はないぞ?

我慢するの!

これは触診…触診なんだよ…!!



ううん

……
言っても

普通に
目のやり場に
困るんだけど……

ふう……

肉体とは中々不便
なものだ
定期的にメンテナ
ンスを
行わないと
不快で仕方ない

(フィジー人)

え
ちよつとまた
むずむずして
きた
……ジュード
あうん

うむ
そこだ
あちよつと
赤くなってる
な……

自らの足で歩いてみると
一日も経てば水を浴びたくなる
それどころか一里で腹が減る

平原を歩いても
洞窟に入っても
船に乗っても
街に着いても
腹が減るだろうか？

食事をし
身体を清潔にし
睡眠をとる…

生きるという事とは
人生という盤にて
身体や精神の調整を
しながら歩を進める
という事だろうか

え？

うん

…

それは人となって
身にしみた
本から得る知識だけでは
やはり実感に乏しい
ものだな

基盤が整って
なかったら実際
すぐにへばっちゃう
もんね

…でもやっぱり
ミラには不便
でしょ？

いや君らの
追体験の様で
楽しいものだ

こういう風には
人間というのは
日々丁寧に
生きているのだな
と思うと…

ふふ…
いとおい…

…じゃあ

人間の内に
色々経験しなきゃ
だね？

いつかマクスウェルに戻って

使命を果たせばきっとミリアは

僕に出来る事だったら
何でもするから



ね？

ずっと一緒に居られたら ずっと傍でミリアの力になれば っと思うけど

そんなのは たぶん

…ふむ…

そうだな…



知識として持っている事柄と
実際に体験するのとは
大きな差異が往々にしてある
…それは学習出来た

…ジュード
私は今満たされたが
満たされないという感情に
少々戸惑っているのだが

何？

どうしたのミラ？
何か気になる事
でもあるの？

うむ
さつきから君に
触れられて
どうもな…

あつ
ごめんね

もう
治まった？

かやいの

ジュード

キリ…

君は
生殖行為をした
事があるか？



えっ

え
何

君の年齢では
一般的には少し
早いのか？

ミラ何て
言ったの？

生殖行為の経験の
有無を訊いている
何度も言わせるな
これでも結構意を
決してるのだ

大っぴらに
訊く事では
ないのだろう？



無いか

???

真面目な話
してたよね？

至って真面目だぞ
話の流れとしても
自然だ

基本的欲求が満たされ
他に重圧がなければ
心の向く先はそこの
だろうか？

もしくは逆に寄る
過度の重圧が
種の保存本能が
行動原理となるか

さっきも言ったが
人として何やら足りない
満たされないものがあると
ずっと感じていた

…どうやら私は
それを欲しているらしい
「異性に触れられた」
というのが発端なのかは
解らないが

ちよ

え

え

種の保存か
その行程のどちらが
目的かといえは
恐らく後者だろう





つまるところ
性への欲求だ
そして幸運な事に
私の願いに対して
君は協力的姿勢だ

きゅ

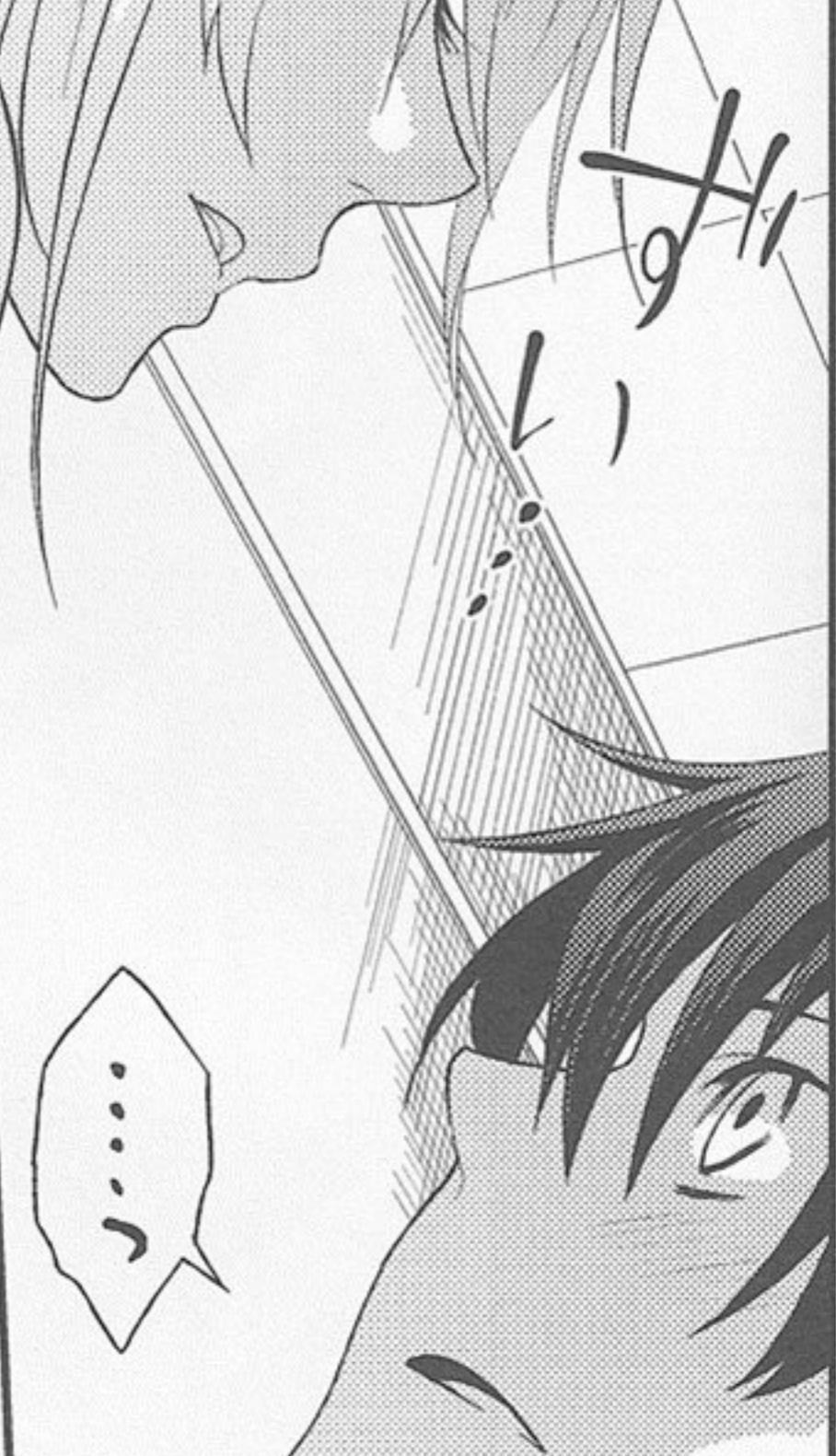
急に
どうしたの
じ自分で
何言ってるか
解って...

生理的に自然な事
だろう?そしてこれは
君への甘えだという事は
重々承知だが、何せ相手があっ
てこそその事だからな...



ジュード

私とでは嫌か...?



...



あつ
あーこれは
夢なんだね

ミラが
僕に

そんな事言う訳
ないもんね?

おどろおどろしい
感じが...
まさか...

うむでは
夢だとしよう

ジュード
夢の中であっても
私に触れたくはないのか？
むしろ自由にして
良いのだぞ？

いい機会ではないか
重く感じずとも良い
君も色々観察
すればいい

いざ…

って…それ
単なる好奇心
でしょ？

ミラ そそいう
行為はすつ好きでっ
心が許せる人としや
なきや駄目だよ！

君ぐらゐの年頃の男性ならば
頭の中が異性に関する事で
満ちていても何らおかしく
ないと思うのだが

倫理の問題か

それならば大丈夫だ
私は今の所君としか
そういう事を
したいとは思わない

それに現に君は
逃げようと思えばいつでも
椅子を立てたが
今もそこに座っている
ではないか

ちよ待
ミ…っ

さあ 食事は済んでいるし
身も清めてある
丁度皆も出払っているので
今やるしかないぞ

…って

ぼっ…
僕の倫理観は
無視なの!?



忘れてくれ

えっミ

ミラ
そ...そうじゃ
ないよ...

僕はミラの事...



そうか君にとって
私はそういう対象では
ないのだな

すまなかった



ちやんと
そういう目で
見てるんだからね!!



もう!!
どうなっても
知らないから!!



あつ……

ぽ

ん



ではゆくぞ



って逆！
逆だと思おうよ!?

どちらでも
良いではないか
細かい事は
気にするな

おどろおどろしい
おどろおどろしい
おどろおどろしい



んっ
ふ

ちゅっ
ちゅっ

んっ

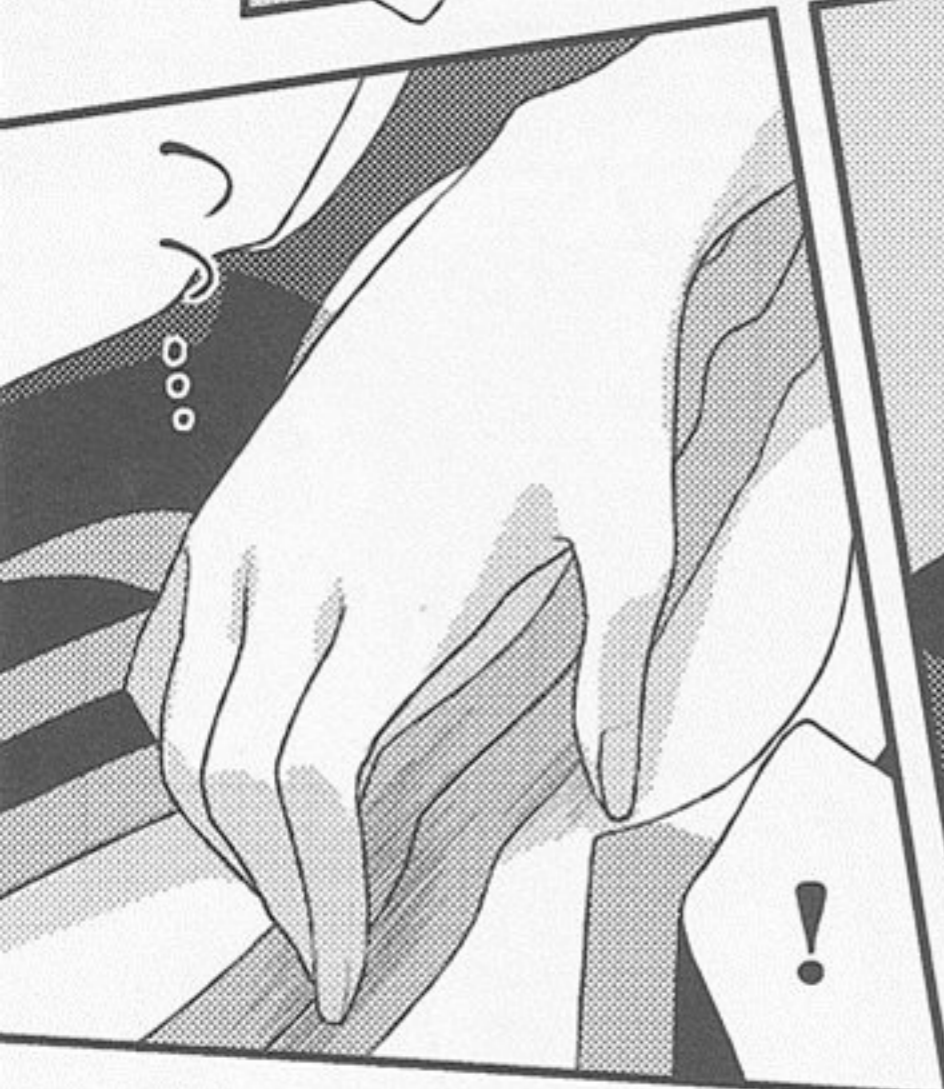
んっ……



ちゅ……

んふ……ん……

ん……





脱がさないといけないと出来ないではないか今更抵抗するな

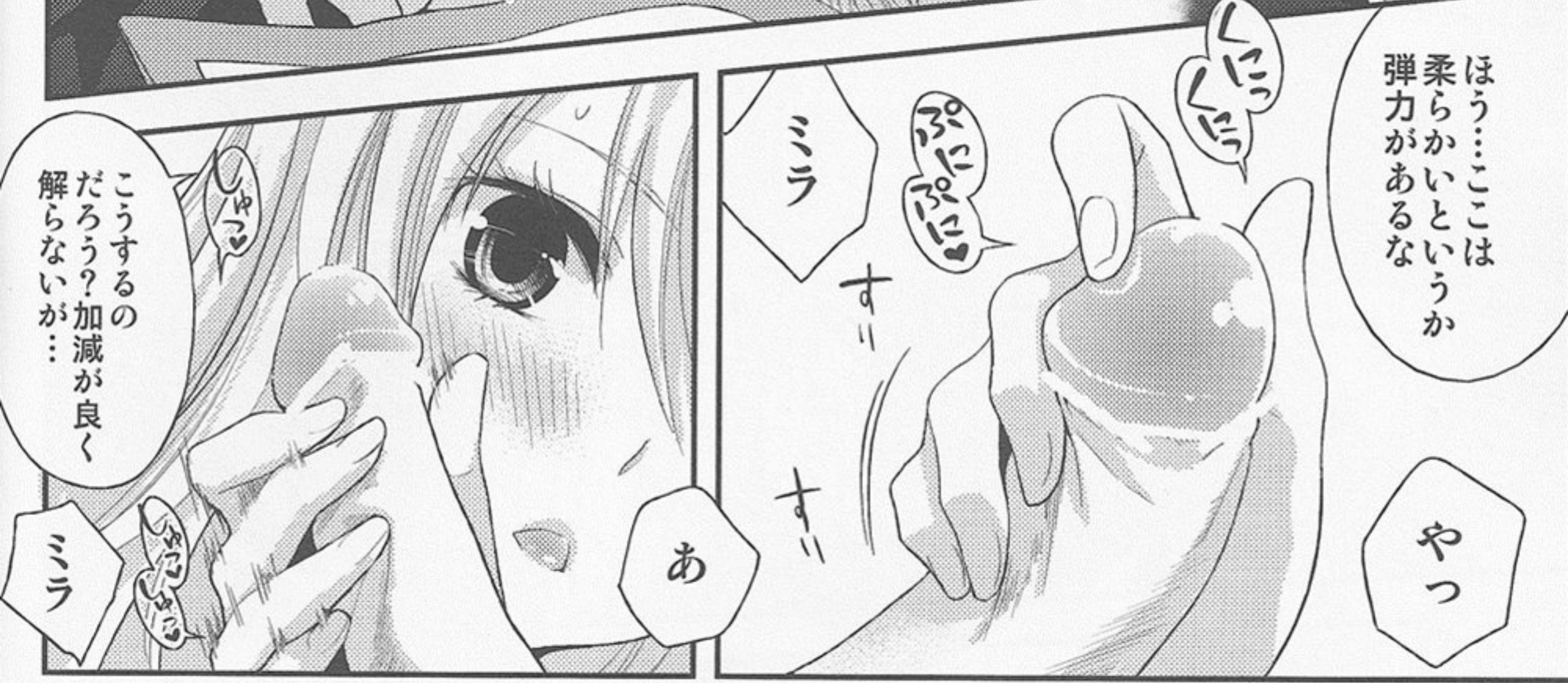
ちよつ
ミラあ

あつ...

139

るるる

ぐ...



ほう...ここは柔らかいというか弾力があるな

こうするのだから？加減が良く解らないが...

あ

やつ

ミラ

す

す

ミラ



具合はいいか？滑りが良くなってきたぞ

んあ

あつ

あつ
あつ

びびび

んあ

んあ

んあ

んあ



これが精液か

あつ

あ

良かったか？
とある小説で得た
知識だ

うっ…

ふ

良い顔だ
しかし相手に刺激を
与えると同時に
こちらにも気分が高揚
してくるのは不思議
だな…？

んああ

ちゅんちゅん

ちゅんちゅん

ちゅんちゅん

ちゅんちゅん

う…

ぐんぐん

もろっ
もろっ…

んんん

はあっ

はあっ



…どうした？
手が震えてるぞ

だ…だって…



はあっ
はあっ

んんん

…ん
んっ



は…初めて
なんだからね…

カアアアアッ

ふふ…そうか
嬉しいぞ

もう
邪魔な衣服は
脱いでしまおう
か…

……



ふむ…
胸が高鳴る…
うまく表せない
感情だ

ニギニ

ニギニ



み魅力的も何もっ
綺麗すぎて直視
出来ないしっ



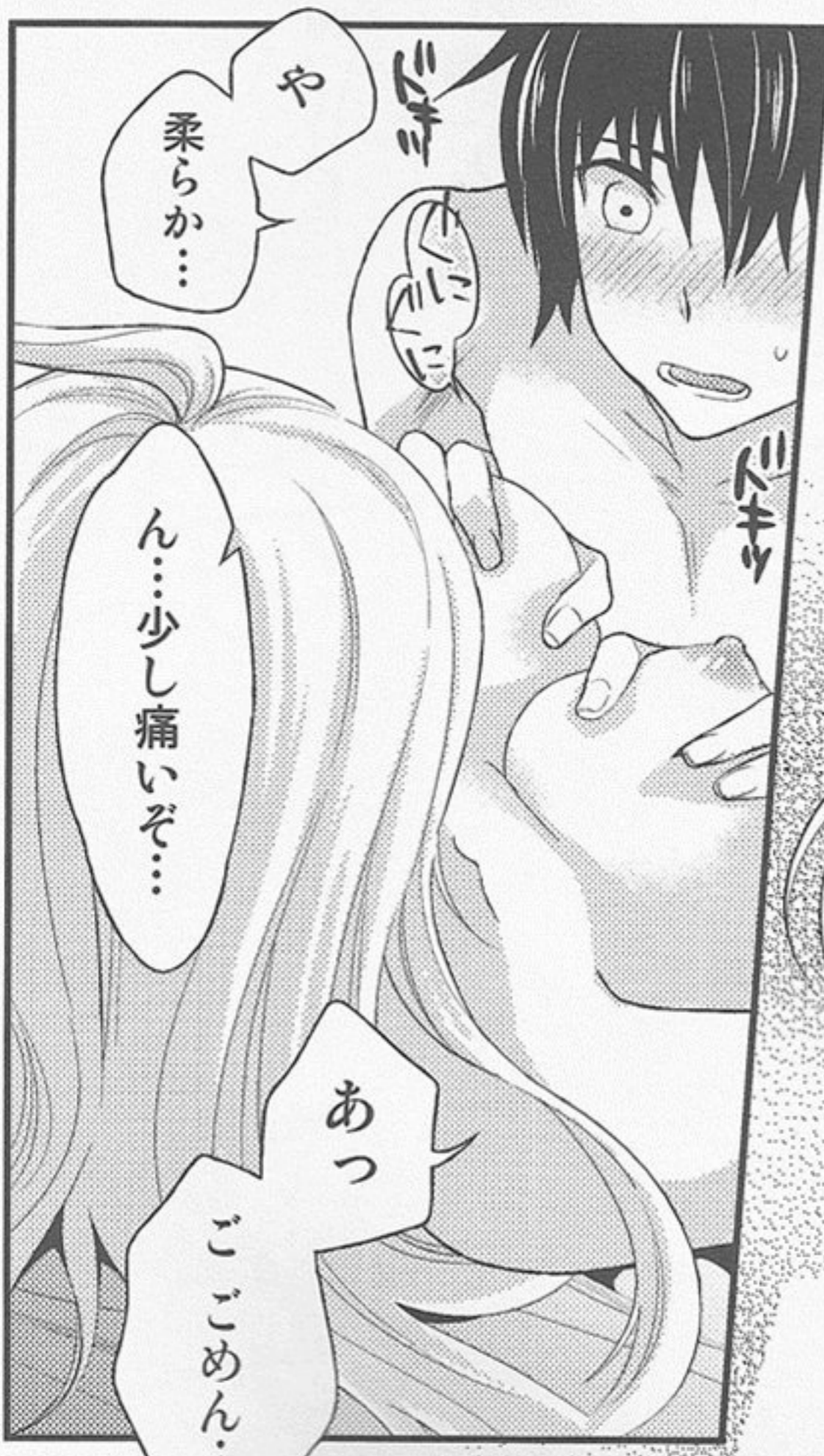
…何を
している？
こちらに
来るのだ

さあどうだ
おかしくないか？
君にとって私は
魅力的か？

別に見返りを
求めている
のではないが
準備が必要
なのだろう？



いいから
早くから
触るのだ！



や
柔らかか…

ん…少し痛いぞ…

あっ

ごめん…



んっ

ぐりぐり

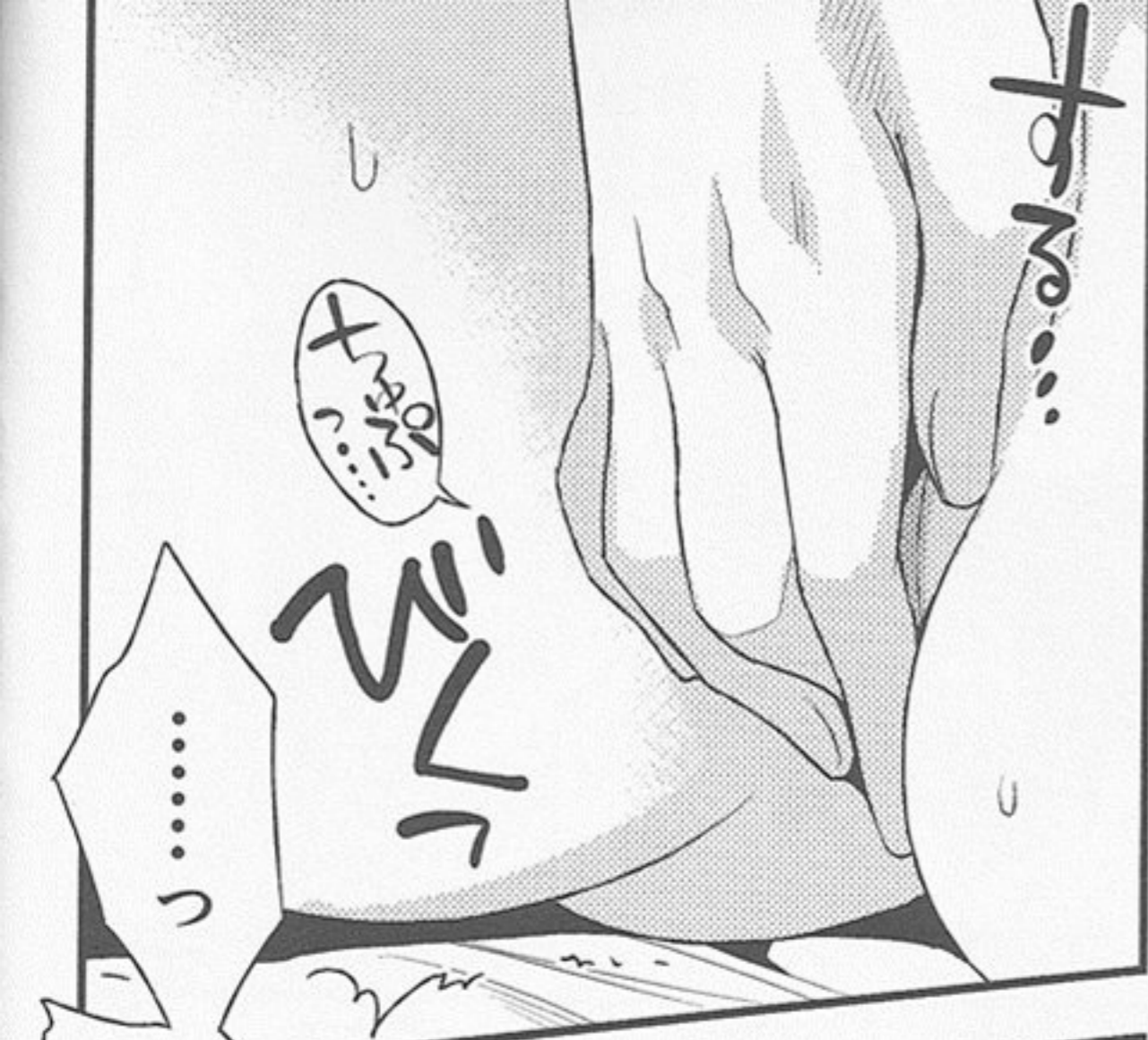




あ.....あ.....
あ.....
あ.....
あ.....

あ.....あ.....

あ.....あ.....
あ.....



1500.....

あ.....あ.....



んああっ



ああ
何か

んああっ

んああっ

来.....

んああっ

あっ
あっ



あっ
そこはっ.....

んああっ!



んああっ

あっ
あっ
あっ

400

んああっ



ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

んっ...♡



はん...
はあっ
はあっ

ミニラ...

これが
達するといふ



!!

っはっ...

びび
びび
びび



ううむ

んっ...あ...



ちゅっ
ちゅっ

は...



ミニラ

ううむ
準備は
良さそうだぞ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ







あつ...

あつ...

んあつ

あ

何だ？
腹の奥が...
ま待て
ジュード



んあつ
……
!?

ジュード

んっ

あつあつ
あつあつ

もももも
ゆっゆっ……

んっ

あつあつ
あつあつ

あつあつ
あつあつ

あつあつ
何か違…

何?

あつあつ
あつあつ

や...

感覚が
長.....っ



.....

あ♡
まだ
♡ 続いて...



まだだよっ..

ん♡
っ♡



あ

ひあ

あっ♡
あっ♡

あっ
あっ

..♡
♡
♡

♡

♡

♡

♡

ズン





夢でした

ファン
ファン

...

書き逃げすみません
新鮮味の無いネタですすみません
まだだよ?とか言っておいて割と瞬殺で以下略

ジュードサン苛めるの楽しかったです本当に…ほんとうに…

普段はRの付くものはTOAのルクティアを描いていたりするのですが、それに対して(ルークやティアに対して、ひいてはアビスという作品に対して)は背徳感がほんとに凄いのですが、今回微塵も感じませんでした…ジュミラ恐ろしい子(いや恥ずかしい事には変わらないのですが)

わたしの心も飛翔したようです
また描ければと思います
御付き合い下さり有難うございました!

シイナ

【うちのジュミラちゃんが飛翔しました】R18

TOX Jude x Milla Fan Book #4

2012年8月10日 Aerial Soul発行

<http://aerialsoul.xii.jp>

aerialsoul@hotmail.co.jp

Printed by: ねこのしっぽ

禁無断転載・転売・オークション出品・18歳未満の方の閲覧・購入



TALES OF XILLIA Jude x Milla Fan Book #4
Aerial Soul Aug. 2012